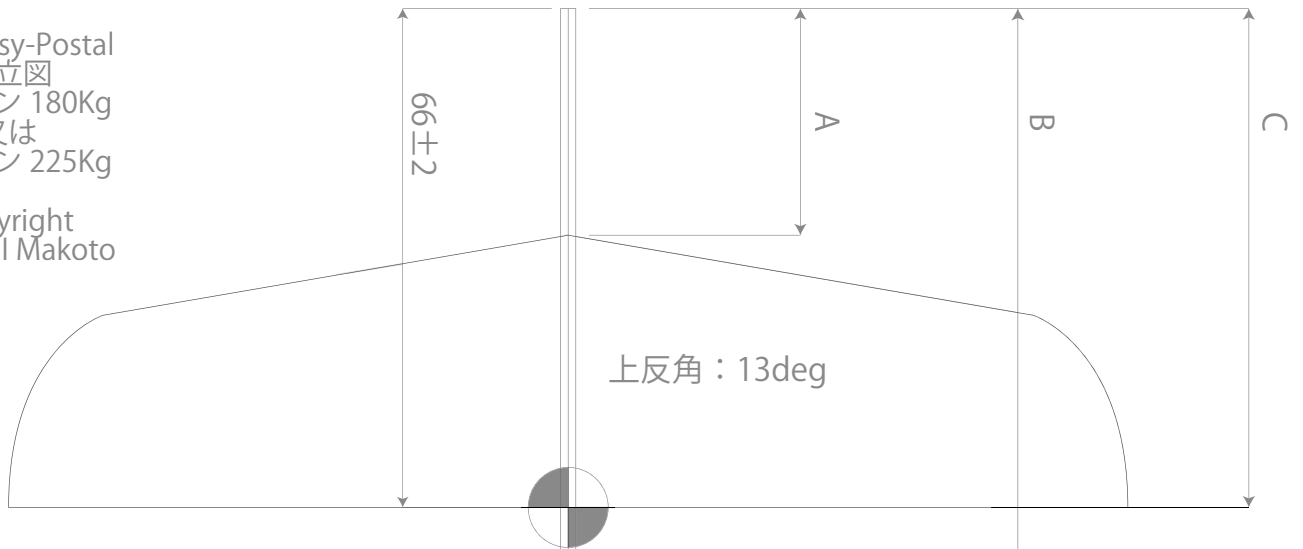


RevoEasy-Postal
組立図
ケンラン 180Kg
又は
ケンラン 225Kg

Copyright
KIKUCHI Makoto



※重心合わせ

仮想重心位置：66±2mmになるよう
板錘を付けて調整してから滑空テストをし
着陸寸前で僅かに機首を上げるように
バラスト量を変えて調整する
注) 誤差の範囲に収める！

凡例  目安：重心位置

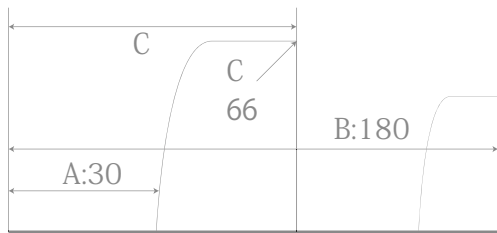
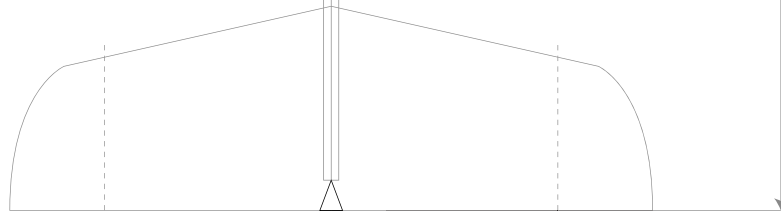
※設計通りなら

機体重量について
機首先端 65%、尾翼後端 35%の
配分比にあれば
この状態で滑空テストさせて
軽いピッチングならば OK
要は着陸手前付近から頭上げになる
滑空テスト後は水平発射で再調整

StubTilt

左旋回なら機体後方から見て
右下がり約3度に仮設定
グライドテストで狙い通り
になっているか確かめ乍ら
微調整します。

機首～尾翼後縁切り欠き△頂点を
胴体長さ



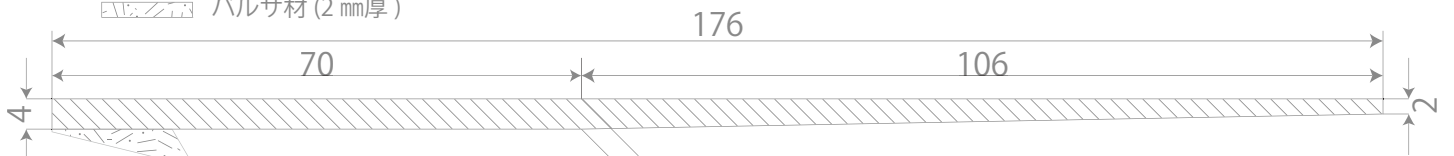
A:B=6.000

H310115

水戸南航空製作所
M.KIKUCHI



凡例  ヒノキ材 (2mm厚)
 バルサ材 (2mm厚)



フック部工作
バルサの端切れで
適当に作ります。

胴体について
2mm角を貼り合わせる (2by4) か 2×4mmから
切り出すか何れの工法で図示寸法に仕上げる